

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4 千葉県労働者福祉センター5階
評価実施期間	平成 22 年2月18日

2 評価対象事業者

名 称	デイサービス秋桜	種別： 通所介護
代表者氏名	三島木和香子	定員（利用者人数）： 15 名
所在地	千葉県印西市小林1608番地	TEL 0476-97-5535

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

<p>特に評価の高い点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助け合いの精神の元に、地域に根ざした介護サービスの提供を理念に掲げ、高齢者デイサービスと知的障害者デイサービスをあわせて行なっている。また、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、自立支援法生活介護、居宅介護支援事業、その他研修事業を行い地域の要望に積極的に答えている。</li> <li>・利用者の表情は明るく穏やかで、利用者の希望、意向を把握した、利用者本位のサービスが実現していることが伺える。現場従業員と法人幹部との定期的な会議が行なわれ、職員の意思統一されたサービスの提供が行なわれている。</li> </ul> <p>特に改善を求められる点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の評価基準について外部講師を招いて、自己評価基準作りに取り組んでいる。全職員参加で勉強会を行なうことにより、職員の意識が向上しており、引き続き評価基準作成に向けた取り組みが望まれる。</li> <li>・非常災害時における安全管理については、消防署の協力を得て訓練が行なわれているが、全職員が参加できていない。自然災害の想定や地域住民の参加の訓練を行なう事が望まれる。</li> </ul>
---

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

<p>継続的に評価受審することにより、ケアの向上を目指していますが、今年度も客観的な振り返りと改善に取り組むチャンスとなりました。</p>
---

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

<p>一定の基準に縛られず、利用者及び家族の安心と満足を確保することを中心に事業を行っています。 次年度は地域貢献にも一層の力を注ぐ予定です。</p>
---

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
福祉サービスの基本方針と組織	<p>特に評価の高い点</p> <p>地域に根ざした福祉を理念に掲げ、法人代表者の地域での公演や、職員による地域住民を対象とした認知症講座を行なうなど、積極的に地域で理解されるよう努力している。職員が組織の方針を理解している事が、穏やかに過ごしている利用者の表情に伺うことが出来る。高齢者と障害者共生型のデイサービスを自然な形で行なっており、法人代表者の福祉に対する高い志が伺える。</p>
組織の運営管理	<p>特に評価の高い点</p> <p>介護保険、障害者自立支援、自主事業など、地域が必要としている事業に前向きに取り組み、実践している。定期的に職員と管理者の合同会議が行なわれ、現場従業者の声を法人代表者がじかに汲み取ることが出来る仕組みがあり、職員の定着率の良さが利用者の安心につながっている。他事業所に職員を研修に出すなど、積極的に職員教育に取り組んでいる。</p> <p>特に改善を求められる点</p> <p>今年度はコンサルタントを入れて自己評価基準作りを行なっており、職員の意欲を引き出すことが出来る段階まできている。今後は引き続き客観的な自己評価基準を確立し、管理者も職員も納得のいく評価につなげていくことが期待される。</p>

【介護サービス項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
介護サービスの内容に関する事項	<p>特に評価の高い点</p> <p>利用者と家族の意向をまず一番に考えている。例えば、送迎の時間も個々の希望に合わせているので、時間帯の幅が広い。また、多彩なリクリエーションを用意して、どの利用者も楽しめるように工夫している。単に楽しむことが目的ではなく、買物で言えば、利用者が買物に行くことで、障害や認知症を近隣に理解してもらい、店頭にある品物を見ることで最近の流行を知る、生活リハビリ（日常動作の訓練）等、様々な目的を持たせるよう意識をしている。また、地域の中での存在感の大きさも特筆すべき点である。</p>
介護サービスを提供する事業所又は施設の運営状況に関する事項	<p>特に評価の高い点</p> <p>法人の各部署から1名が参加してマニュアル委員会を設置しており、マニュアルを2ヶ月に1回見直し、常に現状に即したサービスが提供できるようにしている。また、内部研修が充実しており、研修については非常勤職員も含め、すべて勤務として参加できるように配慮している。</p> <p>特に改善を求められる点</p> <p>非常災害時の対応についてはマニュアルもあり、消防署立会いで、年1回の避難訓練を実施している。しかし、あらゆる場面を想定しての訓練を、利用者とともに実施する機会を増やすことが必用と思われる。</p>

【第三者評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

評価調査票(居宅介護サービス共通)

事業者名 **デイサービス秋桜**

(種別: 通所介護)

評価基準		自己評価		評点	コメント
福祉サービスの基本方針と組織	項目番号				
- 1 理念・基本方針					
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。					
- 1 - (1) - 理念が明文化されている。	1	(a)	手助けを必要とされる方々のために住民参加と助け合い精神をもとに、地域に根差した介護サービスを提供することを理念として、明文化している。	A	運営規程に明文化されており、総会の場や、地域の行事等で広報している。
		b			
		c			
- 1 - (1) - 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	(a)	運営規程、第2条に掲げ、実践している。	A	理念に基づく3つの方針がある。“利用者へのより一層の質の高いサービスの提供強化”“職員のレベルアップを図り働きがいのある職場とする”“リーダーの充実と深化・社会貢献活動の促進として研修受入れや市民活動への協力”を掲げている。
		b			
		c			
- 1 - (2) 理念、基本方針が周知されている。					
- 1 - (2) - 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	(a)	内部研修でも年1回は周知をはかり職員は理念や方針に賛同しており、実践している。	A	職員と管理者との合同運営会議を、年度初めの4月に実施し、理念、方針を周知している。
		b			
		c			
- 1 - (2) - 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	(a)	利用者のみではなく、地域の方々にも周知をはかり賛同を得ている。	A	地域住民、利用者、利用者家族に対しては、法人の総会、ボランティア祭り、夏祭りのときに、事業案内と併せて、周知している。
		b			
		c			
- 2 計画の策定					
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。					
- 2 - (1) - 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	(a)	事業計画は、年1回千葉県庁NPO法人活動推進課に報告提出し、開示されている。昨年度から各部署ごとの計画加えた。	A	各事業所ごとの事業計画が策定されており、年次総会で承認されている。
		b			
		c			

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 - ( 2 ) 重要課題の明確化				
- 2 - ( 2 ) - 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	a b c	A	各事業所ごとの課題については、スタッフ会議で意見交換して課題を明確にし、管理者と職員の合同会議で検討している。
- 2 - ( 3 ) 計画が適切に策定されている。				
- 2 - ( 3 ) - 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが協議する仕組みがある。	7	a b c	A	運営推進会議を年2回行い、併せて職員、管理者の合同会議で課題検討を行っている。
- 3 管理者の責任とリーダーシップ				
- 3 - ( 1 ) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
- 3 - ( 1 ) - 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	a b c	A	全介護職員を対象に社外体験研修を実施し、研修報告書に基づいた個別の内部研修をする等、サービスの質の向上に指導力を持って取り組んでいる。
- 3 - ( 1 ) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	a b c	A	潜在問題の把握のために、グループワークで事業所のよい所、悪いところなどを、人間関係まで含めて自己評価を行った。
組織の運営管理				
- 1 経営状況の把握				
- 1 - ( 1 ) 経営環境の変化等への対応				
- 1 - ( 1 ) - 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	a b c	A	地域住民との共存を大切に考えており、地域の特徴や住民の要望把握に努めている。経営については、事業者支援セミナーに参加する等、事業を取り巻く環境を的確に把握するべく取り組んでいる。
- 1 - ( 1 ) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	a b c	A	経営状況については、コンサルタントに依頼し、課題を発見し、課題解決のための取り組みを行なっている。

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 人材の確保・養成				
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。				
- 2 - (1) - 人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的にやっている。	12	(a) b c	A	定着率の良い施設として、ハローワークの依頼を受け、福祉施設見学会を定期的に受入れており、見学会参加者からの採用もある。また、人材育成についても、少しずつ、法人内でこれまで法人幹部が担ってきた任務の一部を任せられる人材が育ってきており、デイサービスに於いてもその過程にある。
- 2 - (1) - 職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	13	a (b) c	B	外部講師を招き、自己評価の基準作りに取り組み職員の意識の高揚が伺えるようになってきた。職員の自己評価で基準が明らかになったが、今後は、それに基づいて管理者側が職員を評価し、フィードバックしていくことが必要と思われる。
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				
- 2 - (2) - 事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	14	(a) b c	A	管理者自ら現場に入っていることに加え、職員・管理者合同会議が定期的に行なわれることで、管理者がスタッフの状況を把握できる仕組みが出来ている。
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	15	(a) b c	A	職員が楽しく、働くことが質の良いサービス提供に結びつくため、ストレスを軽減する取り組みには、力を入れている。今年度の職員旅行は台湾2泊3日を楽しんだ。